JB LIGHTING

P9 Beamspot

取扱説明書

Version 1.08

Software >= 1.0.0

JP230405

afb

Ver1.08

Content

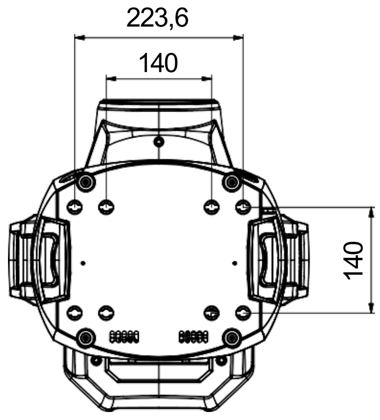
1. Introduction

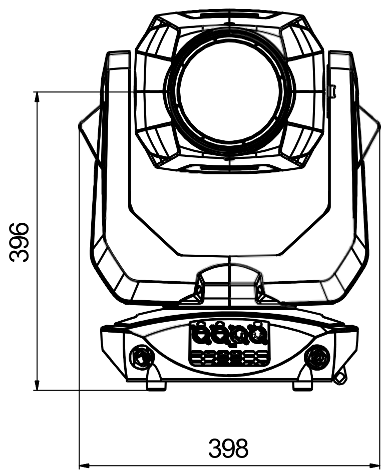
1. P9 Beamspot models

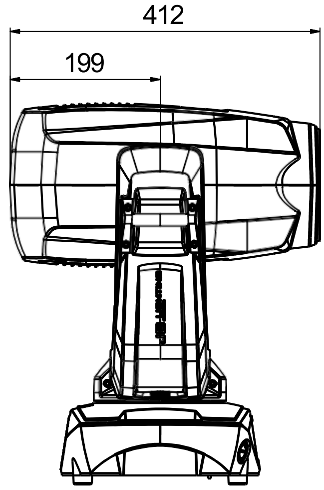
P9 Beamspotは、そのままの色温度で、ハイパワーな機材としてお使いいただく事が可能です。また、色温度5800K（CRI> 90）、3200Kでも演出に応じてご使用いただくことが可能です。

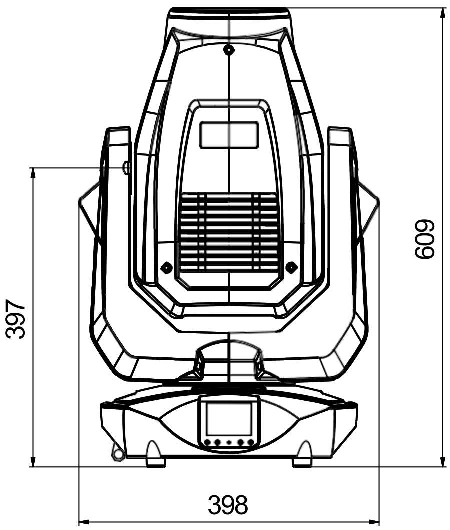
Specification	HP - High Power	with High CRI filter	with CTO filter
Color temperature	6800 K	5800 K	3200 K
Luminosity	25.000 lm (15.000 lm output)	10.000 lm output	7.500 lm output
CRI	>= 70	>= 90	>= 85

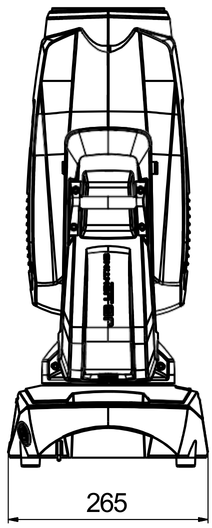
2. Dimensions



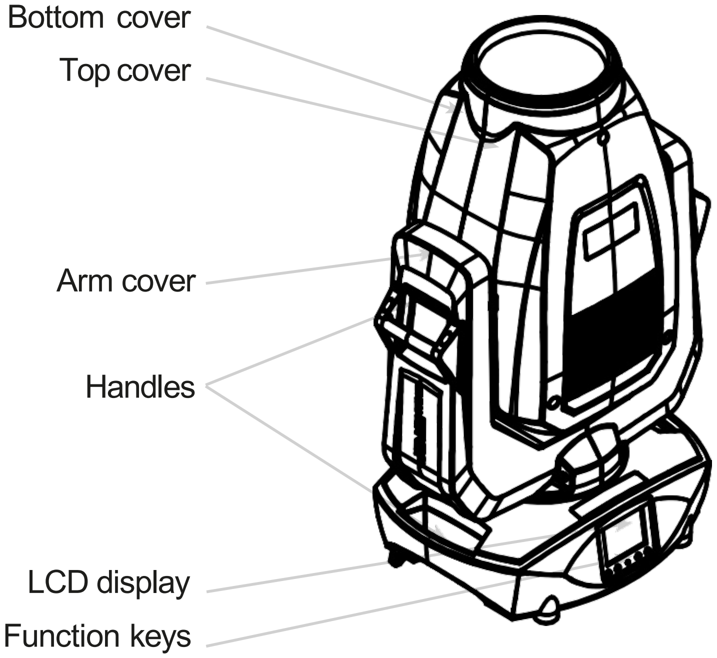


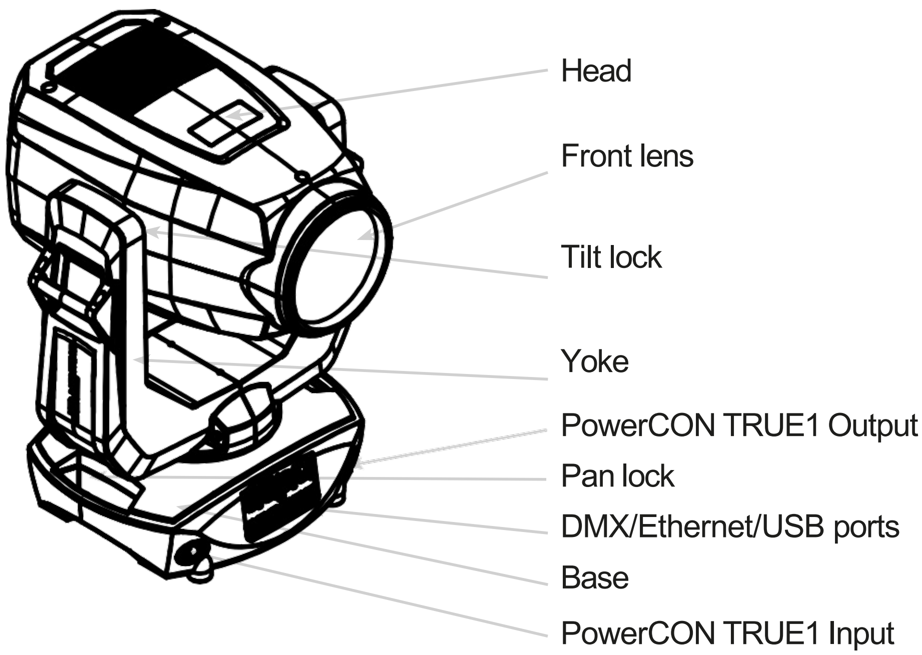






3. Product overview





4.安全に関する注意事項

注意：安全のために、最初に使用する前にこの取扱説明書をよくお読みください。

このスポットライトは、良好な状態で弊社より出荷されています。この状態を維持し、安全にお使いいただくために、この取扱説明書に記載されている以下の安全に関する指示と警告を守ることが非常に重要です。
この取扱説明書の指示に従わない場合、または許可なく改造した場合に発生した機器の損傷については、製造者は責任を負いかねます。
また、所有者による本機の改造は、保証の対象外となりますのでご注意ください。

注意：この装置は業務用としてのみ使用可能です。防水防塵保護等級IP 20
- 乾燥した環境（屋内）のみで使用可能です。

注意：JB-Lighting Lichtanlagentechnik GmbH は、生命維持装置への使用を許可していません。生命維持装置とは、生命の維持や安定を目的とした装置で、その欠陥や誤動作が人の死や傷害につながる可能性があるものを指します。
本書の製品は、以下の EU 指令に適合しています。

- Low Voltage Directive 2014/35/EU
- EMC Directive 2014/30/EU

注意：本体を開けるときは、本体が冷えてから、電源プラグを抜いてください。活線部（高電圧）に触れると感電することがあります。

接続する主電源が、タイププレートに記載されている電圧より高くないことを確認してください。 この装置は、タイププレートに記載されている電源でのみ使用できます。電源の種類が不明な場合は、販売店または電力会社にお問い合わせください。
クリーニング作業を行う前、ヒューズや部品を交換する前には、必ず本装置を電源から外してください。
スポットライトを設置した後は、必ず電源プラグにアクセスできるようにしてください。ソケットや延長ケーブルに過負荷をかけないでください。火災や感電の原因となります。電源ケーブルの上に物を置かないでください。電源ケーブルに人がつまずいたり、踏んだりするような場所にスポットライトを設置しないでください。電源ケーブルは、鋭利な刃物で押しつぶされたり、損傷したりしないように注意してください。時々、本体と電源ケーブルを点検してください。
メンテナンス作業は、資格を持った技術者に任せてください。

注意：この器具は感電保護クラスＩに対応しています。このため、このスポットライトはアース接点のあるコンセントに接続する必要があります。

本機をディマーパックに接続することは絶対に避けてください。
初回使用時に、煙や臭いが発生することがあります。これは正常な現象であり、必ずしもデバイスの不良を意味するものではありません。
デバイスは動作中に熱くなります。動作中は絶対に素手でデバイスに触れないようにしてください。
ヒューズを交換するときは、同じ種類で同じ値のものだけを使用してください。ヒューズの交換は、必ず認定技術者が行ってください。

注意：目を傷める為動作中は、光源を長時間のぞき込まないでください。目に有害な影響を与える可能性があります。注意: 潜在的に危険な光量 - DIN EN 62471に基づくリスクグループ2

デバイスが強い温度変動にさらされた場合（例：輸送後）、デバイスの電源をすぐに入れることはできません。結露が発生し、デバイスに損傷を与える可能性があります。 デバイスの電源は、室温になるまで切っておいてください。
デバイスを振ったり、叩いたりしないでください。設置や操作の際に力任せにしないようにしてください。
このライトは屋内使用専用に設計されています。このデバイスを雨や湿気にさらさないでください。
取り付け場所を選ぶ際には、デバイスが極端な熱、湿気、埃にさらされないように注意してください。
スポットライトの頭部と脚部にある換気口とスロットは、デバイスの信頼性の高い動作を確保し、過熱から保護するための換気に使用され、これらの開口部はカバーしてはいけません。
スポットライトの使用中は、フロントレンズを絶対に覆わないでください。
開口部を物質やその他の物体で覆い、気道をふさがないようにしてください。
このデバイスは、適切な換気のない環境で使用しないでください。
このデバイスは、ハウジングが閉じられ、すべてのネジ/カムロックがしっかりと締められているときのみ操作できます。
本装置は、必ず追加の安全装置で固定してください。
取り付け、変更、取り外しの際は、スポットライトの下側が見えないようにしてください。

注意：燃えやすいものから0.5m以上離して設置し、発光部から照射面までの距離は2.0m以上必要です。

最高周囲温度45℃を超えないようにしてください。

注意：フロントレンズが、ひび割れや深い傷など、機能を損なうほど目に見えて損傷している場合は、交換が必要です！

本機の機能に慣れるまでは、操作しないでください。デバイスを使用する資格のない人による操作を防止してください。ほとんどの損傷は不適切な操作の結果です。デバイスを輸送する場合は、元のパッケージまたは特別に適合させたフライトケースを使用してください！

注意：ライトヘッドの内部部品の損傷を避けるため、フロントレンズに直接太陽光を当てないで下さい。

5.設置方法

1. 装置の開梱

パッケージ内容：本スポットライト、オメガブラケット2個（カムロック社製オリジナルファスナー付き）、powerCON-TRUE1ケーブル、安全に関する注意事項。パッケージの上部を開き、powerCON TRUE1ケーブル、安全上の注意を取り出してください。オメガブラケットはスポットライトの下に設置されています。P9 Beamspotに輸送上の損傷がないかを確認します。このことは、輸送会社に直ちに伝える必要があります。

2. 接続ケーブルにプラグを取り付ける

P9 Beamspotには、powerCONTRUE1プラグ付きのケーブルが付属しています（米国版にはpowerCON-TRUE1プラグのみが付属しています）。P9 Beamspotを電源（100-240ボルト、50-60ヘルツ）に接続する際は、それぞれの国の接続規則に従う必要があります。

ドイツ/ヨーロッパでの接続

ワイヤーカラー	**機能**	**記号**
茶色	相1	“L”
青色	中性線	“N”
緑／黄色	アース	“PE” ⏚

ヨーロッパ以外での接続
P9は、以下の電源システムでのみ動作させることができます。

	Mains		P12
2 wires, 1 phase	L N		L N P E
3 wires, 1 phase	L N L		L N
4 wires, 3 phases	L_1 L_2 L_3 N		L N PE

注意
カナダでは、P9は最大電圧120Vの2線式単相ネットワークでのみ使用可能です。

5.3 主電源接続

接続される負荷 電圧 100-240V、周波数 50-60Hz、最大電力 460VA
本装置の電気的安全性と機能は、適切に設置された保護導体システムに接続された場合にのみ保証されます。この基本的な安全要件が満たされていることが非常に重要です。疑問がある場合は、専門家に電気設備の点検を依頼してください。保護導線の欠落や断線による損害（感電など）については、メーカーは責任を負いかねますのでご了承ください。電気部品に触れないよう、完全に組み立てた状態でのみ使用してください。(危険 100-240V)
記載されている点を守っていただければ、デバイスのプラグを差し込むか、専門家に依頼して主電源に接続することができます。

注意：P9は、スタンドアロン動作が有効な場合、またはDMX信号が存在する場合、すぐに点灯することができます！

5.4 電源フィードスルーの配線

注意：必ず専門家に依頼してください。

P9は、powerCON-TRUE1 outの電源出力を備えています。現地の状況に応じて、複数の機器をpowerCON-TRUE1 inとpowerCON-TRUE1 outでリンクさせることが可能です。P9は最大6台（230V/16A使用時）並べて接続してください。
断面積1.5 mm²以上の認可済み3芯ケーブルを使用してください。ケーブルの接続には、ノイトリック社の純正コード付きプラグを使用する必要があります。製造元（www.neutrik.com）の設置説明書とケーブルの色分けを必ず守ってください。

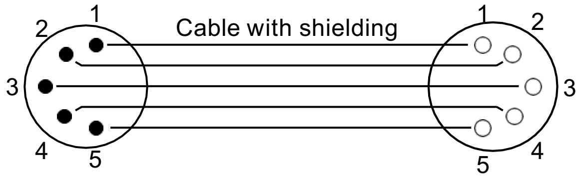
ワイヤーカラー	機能	記号
茶色	相1	“L”
青色	中性線	“N”
緑／黄色	アース	“PE”

5. 信号の接続

1. DMXケーブル配線

DMXケーブル（信号線）は、シールド付き4ピンケーブルで配線してください。DMXケーブル（110オーム、2x0.22mm2または4x0.22mm2）をお勧めします。プラグとソケットは5ピンXLRコネクタで、専門店で購入することができます。

Pin assignment:
Pin1 = Ground/Shielding
Pin2 = DMX -
Pin3 = DMX +
Pin4 = not connected
Pin5 = not connected



P9には、DMX-inとDMX-outのコネクタがあります。ここで、あなたのコントローラーのDMX出力を1番目のP9に接続します（Controller DMX-Out -> P9 DMX-In）。次に、1台目のP9を2台目のP9に接続します（P9 DMX-Out -> P9 DMX-In）といった具合です。場合によっては、いわゆるエンドコネクタ（2番ピンと3番ピンの間に120オームの抵抗が入ったXLRコネクタ）を挿入することが推奨されます。エンドコネクタが必要かどうかは、使用するケーブルの長さやデバイスの数など、さまざまな要因によります。しかし、DMX ラインに問題が生じない限り、これは必要ではありません。

5.5.2 イーサネットケーブルの配線

イーサネットのケーブル配線は、標準的なネットワーク回線で行うことができます。デバイスのソケットはNeutrik社のEtherCONソケットを使用しています。Neutrik 社では、EtherCON コネクタ付きの専用ケーブルを推奨しています。 P9の2つのソケットは、スイッチを介して互いに接続されています。最大10台の機器を遅延なく直列に接続することができます。もちろん、外部スイッチを介してスポットライトをスター型構成で供給することも可能です。受信した信号は、DMXで出力することができます。そのためには、PERSONALITY メニューの DMX OUTPUT CONFIG 設定を ON に設定します。ENTER で確定すると、スポットライトは DMX 経由で受信した全ユニバースを発光させます。

注意：同時にDMX入力に信号がないことを確認してください ！

5.5.3 ワイヤレス受信

P9 は、ワイヤレス DMX 用の LumenRadio CRMX 受信機を標準装備しています。受信機はDMXとRDM の両方を処理することができます。P9にケーブル接続とワイヤレス接続を行った場合、ケーブル接続が優先されます！受信した信号はDMXで出力することができます。そのためには、PERSONALITY メニューの DMX OUTPUT CONFIG 設定を ON にします。ENTER で確定すると、スポットライトはDMX経由で受信した全ユニバースを発光させます。

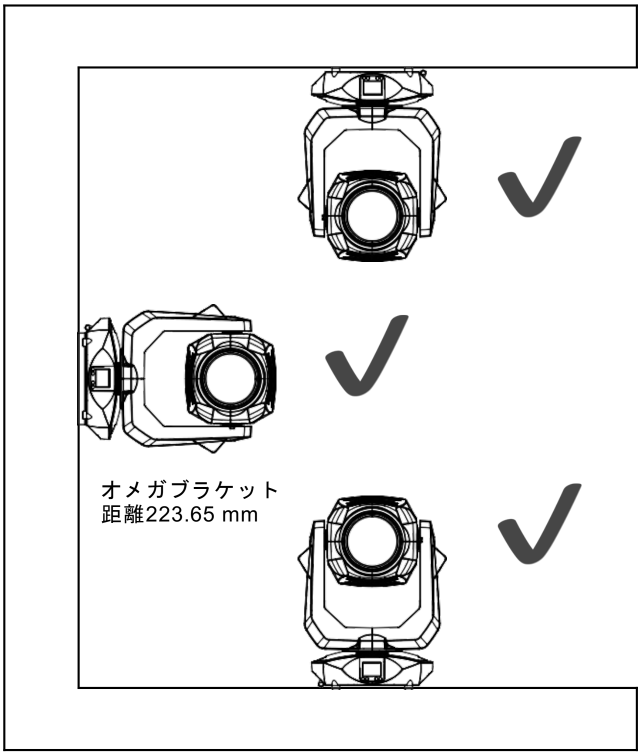
注意：同時にDMX入力に信号がないことを確認してください ！

5.6 デバイスの取り付け

> ⚠ 注意：燃えやすいものから0.5m以上離し、発光部と被照射面との距離を2.0m以上とってください。

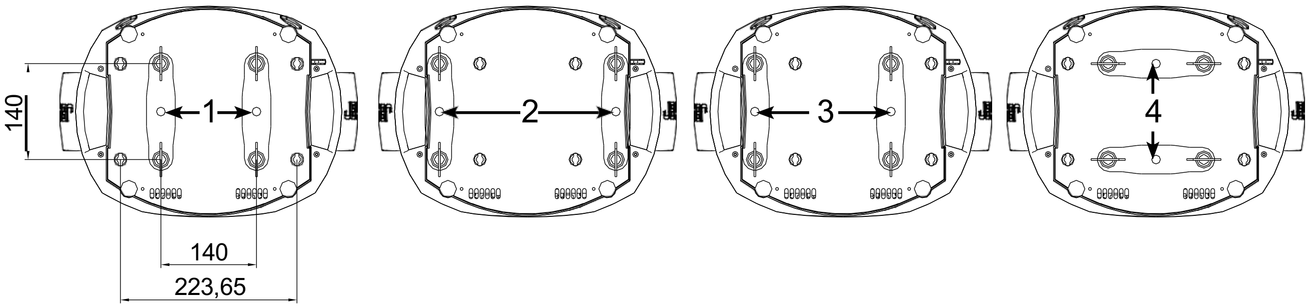
P9は、床に置いたり、トラスシステムに吊ったりすることができます。また、図のようにトラスシステムに水平に取り付ける場合は、当社の特別なカムロックプレートを使用する必要があります（写真１参照）。

ユニットを床に置く場合は、ベース部の吸気口が何かで覆われていないことを確認し、堅い地面の上に置くようにしてください。



（写真１）

トラスシステムにユニットを取り付けるには、JB-Lightingオリジナルのオメガブラケットを2個、オリジナルのカムロックコネクターと組み合わせて使用します。オメガブラケットには、次の4つの取り付け方法があります。



カムロックは、スナップインしないと正しくロックされません。フィクスチャーを取り付ける構造物（例えばトラスシステム）が安全であることを確認してください。フィクスチャーを吊り下げシステム（トラスシステムなど）に取り付ける場合、必ずフィクスチャーの重量の少なくとも10倍を支えることができる安全ケーブルを取り付けてください。フィクスチャーには、二次安全装置用のアイレットがあります（写真参照）。

二次側安全装置用アイレット

6. 操作パネル

P9 にはグラフィックカラーディスプレイが搭載されており、吊り下げ設置時には 180° 回転させることができます。ディスプレイは、PERSONALITY MENU またはメイン画面のショートカット ENTER + UP で回転させることができます。
P12 のすべてのパラメータはコントロールパネルで設定できます。
（メニュー概要 16 ページ参照）

ディスプレイの機能と操作

メインメニューでは、設定されているDMXモードと、ワイヤレスモードがオンになっている場合、関連する送信モジュールの電界強度に関する情報が表示されます。″ENTER ″はサブメニューを呼び出したり、入力を確認したりします。″ESC ″は機能またはメニュー項目を終了するのに使用します。 ″ UP″ と ″DOWN″ は、メニュー内の移動と値の入力に使用します。

特別な領域は、特定のキーの組み合わせでのみ呼び出すことができます。そのためには、「ENTER」キーを押しながら、反対の「ESC」キーでメニューにアクセスします。機能を終了するには、逆の手順で行います。
この機能は、SERVICEエリアではFINE ADJUST機能、STANDALONEエリアではMODIFY、RUN、REMOTE機能で適用されます。
メインメニューは、不用意なアクセスを防ぐためにロックすることもできます。「ENTER」キーを押しながら（押したまま）、反対側の「ESC」キーで追加ロックすることも可能です。

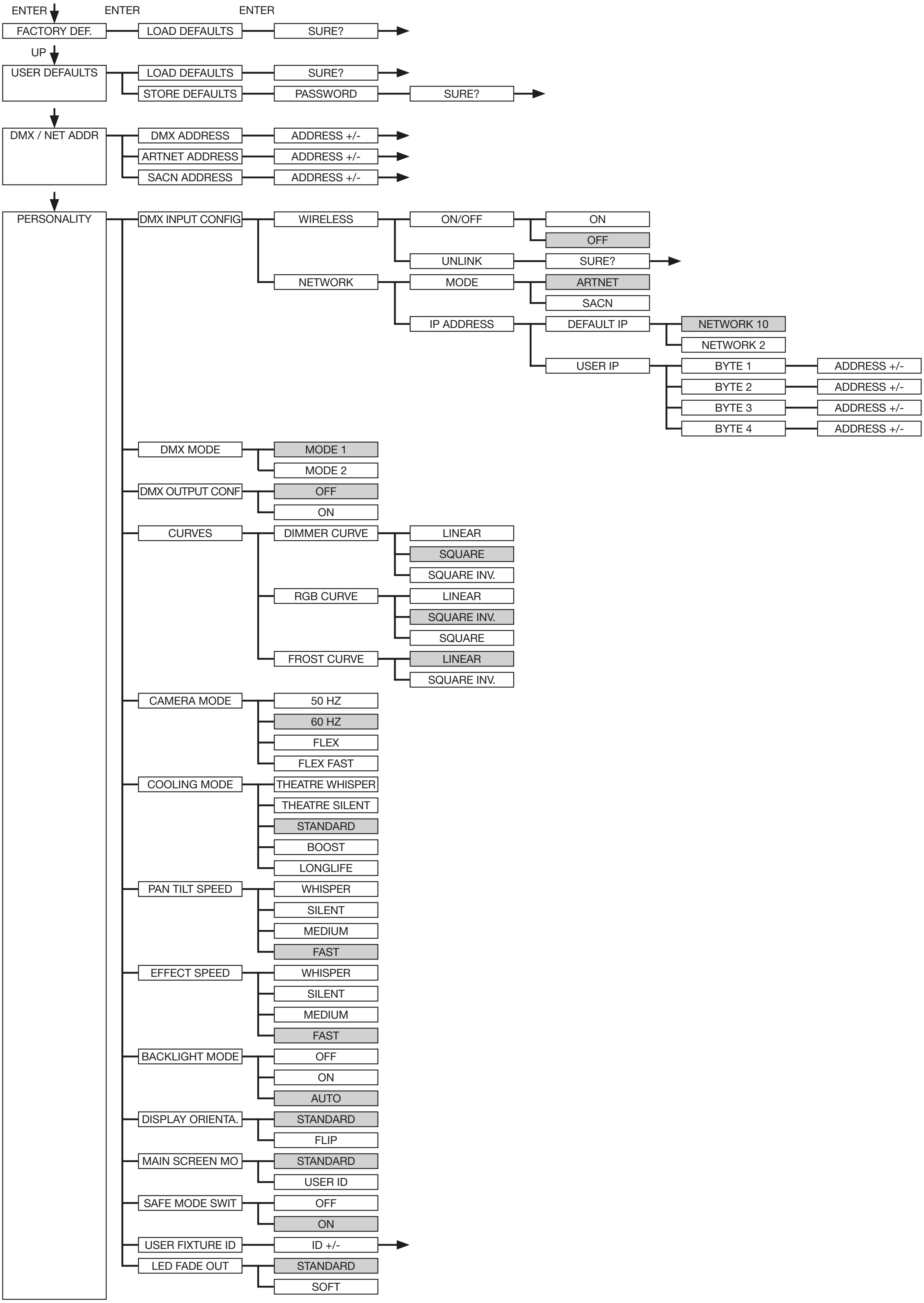
機能表示としてのディスプレイ照明
リセット中はディスプレイ照明が消灯したままになります。 ″ JB-Lighting ″表示時にディスプレイの照明がゆっくり点滅するのは、DMX信号がないことを意味します。
″ JB-Lighting ″表示時にディスプレイ照明が非常に速く点滅するのは、新しいエラーが ″ERROR LIST ″に保存されていることを意味し、ディスプレイのエラーメッセージ（例：*PAN TIMEOUT）はこの現在のエラーを示しています。このエラーは、今回のリセット時の操作で発生したものです。このエラーは自動的に ″read ″に設定されますが、″ERROR LIST ″には表示されたままです。
表示灯の高速点滅は、「ERROR LIST」内にエラーが残っているが、すでに確認された、または自動的に確認されたことを示します。エラーが「ERROR LIST」から削除されたときのみ、P9 Beamspotはエラー信号なしで再スタートします。
エラーが何度も発生する場合は、販売店/代理店または弊社サービス部門にご連絡ください。 P9 BeamspotがDMX信号を受信すると、15 秒後にディスプレイ・イルミネーションが消えます。
ディスプレイ照明の詳細な設定は、20ページ「BACKLIGHT MODE」を参照してください。

DMXアドレス設定
メインメニューで、DMXアドレスはアップ/ダウンキーを押して直接設定することができます。

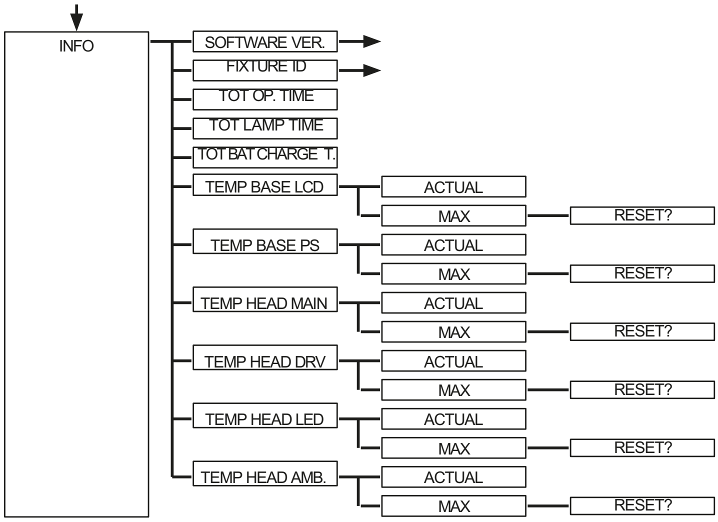
バッテリーバックアップによるディスプレイ操作
ディスプレイ下の左ボタンを押すと、ヘッドランプの設定用バッテリー動作が有効になり、電源がなくても設定できるようになります。メニューで表示される全ての設定が可能で、例えばDMXアドレスの設定も可能です。

6.1 Menu overview P9 Beamspot

グレー – 初期設定



- SERVICE
  - RESET FIXTURE
    - SURE? →
  - ERROR LIST
    - LIST
      - PAN TIMEOUT
        - COUNT: 1
          - CLEAR?
    - CLEAR
      - SURE?
  - FUNCTION TEST
    - START TEST
      - TEST RUNNING
  - DMX TEST
    - DMX CHANNEL
      - CH 001: --- +/-
  - INIT PAN/TILT
    - SURE?
  - DISPLAY CONTR.
    - D. CONTR: +000 +/-
  - FINE ADJUST
    - PASSWORD
      - OFS PAN
        - OFS PAN +/-
      - OFS TILT
        - OFS TILT +/-
      - OFS FOCUS
        - OFS FOCUS +/-
  - IDENTIVY DEVICE
    - SURE? →
- STANDALONE
  - EDIT
    - STEP NR. +/-
      - MODIFY
        - FADE TIME
          - FADE TIME +/-
        - NEXT TIME
          - NEXT TIME +/-
        - PAN
          - PAN +/-
        - TILT
          - TILT +/-
        - CONTROL
          - CONTROL +/-
        - SHUTTER
          - SHUTTER +/-
        - DIMMER
          - DIMMER +/-
        - FOCUS
          - FOCUS +/-
        - ZOOM
          - ZOOM +/-
        - AUTOFOCUS DIS.
          - AUTOFO DIS +/-
        - RESERVED
          - RESERVED
        - IRIS
          - IRIS +/-
        - GOBO1
          - GOBO1 +/-
        - GOBO2
          - GOBO2 +/-
        - GOBO2 ROT
          - GOBO2 ROT +/-
        - COLOR
          - COLOR +/-
        - CYAN
          - CYAN +/-
        - MAGENTA
          - MAGENTA +/-
        - YELLOW
          - YELLOW +/-
        - CTO
          - CTO +/-
        - SPARKLE
          - SPARKLE +/-
        - SPARKLE SP
          - SPARKLE SP +/-
        - PRISM
          - PRISM +/-
        - PRISM ROT
          - PRISM ROT +/-
        - FROST
          - FROST +/-
        - MACRO
          - MACRO +/-
        - SPEED P/T
          - SPEED P/T +/-
        - SPEED EFF
          - SPEED EFF +/-
        - MOVE B-OUT
          - MOVE B-OUT +/-
      - CAPT DMX
      - INSERT
      - DELETE
      - RESET STEP
      - CLEAR ALL
  - RUN
  - TIMEBASE
    - 1 SEC
    - 1/10 SEC
  - REMOTE



6.2 FACTORY DEFAULTS - 工場出荷時設定
P9 Beamspot を工場出荷時の設定に戻すには、メニューのFACTORY DEFAULTS、LOAD DEFAULTSを選択します。ENTER "を2秒以上押すと、すべてのパラメータが工場出荷時の設定に戻ります。

6.3 USER DEFAULTS - ユーザーによる設定
PERSONALITYメニューでユーザーが P9を個人設定した場合、その設定はUSER DEFAULTSメニューで保存および読み込みが可能です。保存の際には、意図しないデータの改ざんを防ぐため、以下のパスワードの入力が必要です。ボタン "ESC DOWN UP ENTER"

6.4 DMX/NET ADDRESS - DMXアドレス/Artnetアドレス/sACNアドレス
DMX アドレスは、ディスプレイ上で直接行うことができます。 " UP" または "DOWN" ボタンを押して、希望する DMXアドレスを設定します。 " ENTER "キーで値を確定します。DMXアドレスは、DMX / NET ADDRメニューのDMX ADDRESSで設定することもできます。
アートネットアドレスを設定するには、DMX/NET ADDR メニューで ARTNET ADDRESS メニューを選択する必要があります。UP/DOWNボタンでアートネットアドレスを設定することができます。アートネットアドレスは、000.00.00 の形式で表示されます。この表示は、次のように対応します。
Net.Subnet.Universum.sACNアドレスは、DMX / NET ADDR -> sACN ADDRESSメニューで選択することができます。アドレスは UP/DOWN ボタンで設定できます。sACN アドレスは00000の形式で表示されます。

6.5 PERSONALITY - パーソナル設定 DMX INPUT CONFIG
このメニューでは、WIRELESS と NETWORK のオプションが利用可能です。
WIRELESS -> ON/OFF で、Lumen-Radioの工場出荷時にインストールされた無線DMXレシーバー・モジュールを有効または無効にし、WIRELESS ->UNLINK で、接続されたトランスミッターへの接続を削除することが可能です。器具をトランスミッターに接続するために、器具のワイヤレスがオンに設定され、トランスミッターのコネクションボタンを短く押さなければなりません。トランスミッターは、ワイヤレスが有効になっているすべてのフィクスチャーと、トランスミッターに接続されていないフィクスチャーを探すようになりました。 P9 Beamspotがトランスミッターに正常に接続されると、ディスプレイには現在の受信品質がレベル表示されます。 P9 BeamspotがDMX/イーサコン接続ソケットで追加接続されている場合、これらの信号が無線リンクより優先されます。メインメニューで押したショートカットキーESCとDOWNを使用して、予約した送信機からヘッドランプを予約することができます（22ページ参照）。
NETWORK->MODEで、Artnet運用とsACN運用を切り替えることができます。
ネットワーク操作の場合、スポットライトのIPアドレスは、NETWORK->IP ADDRESSで選択または設定する必要があります。各ヘッドライトには、固有の標準IPアドレスがあります。

IP ADDRESS->DEFAULT IP で、ネットワーク 10.xxx.xxx.xxx からネットワーク 2.xxx.xxx に変更することができます。自分で定義可能なIPアドレスについては、「IP ADDRESS -> USER-IP」で自分の希望するIPアドレスを設定することができます。このアドレスはBYTE1～BYTE4に分かれており、順次設定することができます。

DMX MODE - 動作モードの設定

P9 Beamspotには 2 つの動作モードがあります（24 ページのP9 Beamspotのチャンネル割り当て、33 ページのP9 Beamspotのチャンネル割り当てを参照）。 P9 Beamspotのすべてのパラメータはモード 1 で操作できます。ただし、すべてのチャンネル（パン/チルトを除く）は、8ビットで制御されます。モード 2 - 16 Bit を選択すると、ゴボ、プリズム回転、CMY/CTO(CTB)、ディマー、フォーカス、ズーム、シャッタースライド一式、パン/チルトは 16 Bit で制御されます。

DMX OUTPUT CONFIG - DMX 出力の設定

このメニュー項目で、ヘッドランプのDMX出力を有効にすることができます。つまり、受信したアートネット、またはワイヤレスDMX信号を、このメニュー項目を有効にして、DMXソケット経由で再度ONにすることで出力することができるようになります。同時にDMX入力に信号がないことを確認してください。

CURVES - ディマー、RGB/CMY、フロストカーブの設定

ディマーカーブ：

ディマーカーブはSQUAREからLINEAR、SQUARE INV.に変更することができます。指数関数的なディマーカーブ（工場出荷時設定）は、ディマーのフェードインとフェードアウトをよりスムーズにします。

RGB / CMYカーブ：

RGB/CMYのカーブには3種類のカーブを設定可能： LINEAR、SQUARE INV.、SQUARE.LINEARは、色を直線的に走らせることができます。SQUARE INV.では、光学的に直線的に収縮するように見えます。

フロストカーブ：

フロストカーブは、線形から逆指数（square inv.）に変更することができます。逆指数フロストカーブでは、フロストがよりスムーズにフェードイン、フェードアウトするようになります。

CAMERA MODE - LEDの繰返し周波数を設定する

テレビ録画時のちらつきを防ぐため、 P9 Beamspotは異なるカメラシステム用に50HZ（PAL、Secam、繰り返し周波数100Hz）から60HZ（NTSC、繰り返し周波数100Hz）に調整することができます。異なるカメラシステムを使用する場合や、携帯電話用カメラなど業務用ではないカメラで撮影する場合は、Flexモード（繰り返し周波数600Hz）が設定されます。また、HighFlexモードも用意されています。 このモードでは、薄暗い照明のシーンでスムーズな動きを確保するために必要な、繰り返し周波数が3kHzに設定されます。 P9 Beamspotの工場出荷時の設定は60ヘルツです。切り替えは、コントロールチャンネルを経由して照明ミキシングコンソールでも可能です。

COOLING MODE - 明るさとファン音量の調整

「COOLING MODE」メニューでは、 P9 Beamspotのファンコントロールとブライトネスを設定することができます。以下の設定が可能です。

THEATRE WHISPER:音量29dB(a).このモードでは、スポットライトは周囲温度40℃まで同じ明るさで動作します。このモードでは、ファンをファンのスピードは変化しません。

THEATRE SILENT: 周囲温度40° Cからスポットライトはファンの回転を少し上げて調節し、明るさは常に同じレベルに保たれます。

STANDARD: 約 36° C の周囲温度からのファンは LED を必要に応じて冷却するために動きます。明るさは一定に保たれます。

BOOST: 明るさ15000lm、このモードではファンが少し強く動作し、周囲温度約40° からそれに応じてファンが動作します。

LONGLIFE: このモードではファンが少し強めに動作し、周囲温度約40° からそれに応じてファンが再び動作します。LEDモジュールがより低温で動作し、より「ストレスフリー」になるため、常時設置の場合はこのモードをお勧めします。

P9 Beamspotは温度管理の為の安全装置を備えているため、どのようなモードでも周辺温度による機器の故障に危険はありません。さらに、LEDモジュールは周囲温度60℃となった時点で停止する機能を持っております。

PAN TILT SPEED - パン/チルトスピードの設定

PAN TILT SPEED メニューでは、P9 Beamspotの最大速度、加速度、および移動量を設定することができます。以下の設定オプションがあります。
WHISPER：パン / チルトの速度が 29dB (A) の音量を超えない程度に減少します。
SILENT：パン・チルトの速度が若干速くなり、ウィスパー設定に比べ音量が大きくなります。
MEDIUM：加速と減速が非常にソフトに設定され、ヘッドランプがソフトにブレーキをかけて始動します。
FAST。加速と減速が非常にハードに設定され、ヘッドランプは非常に速く、最高速度で直接移動します。

EFFECT SPEED（エフェクトスピード）-エフェクトスピードの設定

EFFECT SPEED メニューでは、P9 Beamspotの最大速度、エフェクト、およびエフェクトの音量を設定することができま す。以下の設定オプションがあります。
WHISPER：エフェクトのスピードは、29dB (A) の音量を超えない程度に減少します。
SILENT：エフェクトのスピードが若干速くなり、"Whisper "設定より少し音量が大きくなります。
MEDIUM：エフェクトの加速度および減速度のランプが非常にソフトに設定されているため、ノイズが少なくなります。
FAST：加速と減速のエフェクトは最大速度に設定されます。非常に速いゴボと色の変更が可能です!

BACKLIGHT MODE-ディスプレイのバックライトの設定

このメニュー項目は、ディスプレイのバックライトを制御します。
OFF：ディスプレイのバックライトは常にオフになっています。ボタンが押されたときのみ照明がオンになります。このモードでは、点滅で表示されるエラーは表示されません。
ON：ディスプレイのバックライトが常に点灯しています。
AUTO：操作によりバックライトのON/OFFが切り替わります。

DISPLAY ORIENTATION-ディスプレイの向きを設定する。

このメニュー項目は、ディスプレイの向きを回転させます。メイン画面でショートカットのENTERとUPを押すと、ディスプレイを回転させることも可能です。

MAIN SCREEN MODE（メイン画面モード）-メイン画面の表示

このメニュー項目で、メイン画面の表示を変更することができます。DMXアドレスとDMXモードを含む標準（STAND-ARD）画面か、USER FIXTURE IDのいずれかが表示されます。このIDはヘッドライトに番号を付け、ディスプレイにこの番号を表示するために使用されます。

SAFE MODE SWITCH - セーフモードスイッチの設定

この設定は、メニュー項目COOLING MODE（冷却モード）のスイッチングを直接 "OFF "にするか、安全のためにスイッチングの前にディマーとフィクスチャーのシャッターを閉じなければならないかを決定するために使用されます。-> "ON"

USER FIXTURE ID（ユーザー・フィクスチャーID） - ユーザー・フィクスチャーIDの調整

USER FIXTURE ID (0-65535) を設定するのに使います。これは MAIN SCREEN MODE で表示でき、ヘッドライト番号の情報表示として機能します。

LED FADE OUT -調光タイプ
0～5%の範囲で下側の調光方法を設定するのに使用します。
STANDARD：ヘッドランプの調光時、すべてのLEDが同時にディマーがアウトします。
SOFT：ヘッドランプ調光時、LEDをグループ（一列）ごとに順次調光します。

6.6 STANDALONE（スタンドアロン）動作
スタンドアロン動作では、最大20のプログラムステップをP9 Beamspotに保存し、エンドレスループで動作させることができます。データの保存は2つの方法で行えます。 P9 Beamspotで直接希望のDMX値をプログラムして保存するか、接続したDMXコンソールでDMX値を設定し、P12に保存する方法です。
MODIFY、RUN、REMOTEのメニュー項目は、特定のキーの組み合わせでのみ呼び出すことができます。ENTER "を押しながら、"ESC "も押してください。これらのメニューを起動する前に、DMXを送信する他のデバイス（スレーブデバイスとして設定されていないコンソールや他のスポットライトなど）をDMXラインからすべて取り外してください、さもないとDMXドライバーにダメージを与える可能性があります。

スポットライト・ディスプレイでスタンドアロン・プログラムを記憶する。
STANDALONE、EDIT メニューを呼び出します。STEP NR+/-メニュー項目で、希望するステップを選択し、次のメニュー項目でそのステップとチャネルパラメータを変更することができます。MODIFYメニューでは、希望の照明シーンとポジションを設定し、FADE TIME と NEXT TIME（ステップ全体の時間）でステップの個々のシーケンス時間を決定します。
INSERTを使用して、追加のプログラミングステップを挿入します。前のステップのDMX値は、新しいステップにコピーされます。
DELETEを使ってステップを削除します。STEP NR: 1/X と表示されます。選択キーを使って、希望のステップに移動します。
RESET STEPで、1ステップを初期値（DMX 000）に戻します。STEP NR:1/X "と表示されます。選択キーを使って、ステップを選択します。CLEAR ALLは、スタンドアローンプログラミングの全ステップをリセットします。MODIFYの下に再びSTEP1/1が表示されます。STANDALONE, TIMEBASE メニューでは、Fade Time と Next Time を 1 秒から 1/10 秒の間で変更することができ ます。

外部コンソールからのDMX値を受け入れる。
接続されたコンソールのDMX値を受け入れるには、まずCapture DMX inputを有効にする必要があります。 これを行うには、CAPT DMX メニュー項目に進みます。ディスプレイはCAPTURE DMX 01/01と表示され、Enterキーを押してSTART CAPTUREに切り替わります。これで、 P9 Beamspotは外部コンソールからの信号に反応するようになりました。

スタンドアロン・プログラムを起動します。
STANDALONE メニューを呼び出し、RUN サブメニューに移動します。ENTER"（長押し)と同時に"ESC" を押して、選択を確定します。その後、ディスプレイに表示されます。S-ALONE: 01/XX と表示され、プログラムは無限ループで実行されます。
無効化する。ESC "キーを押しながら "ENTER "キーも押します。メニューが1レベル戻り、ディスプレイに「RUN」と表示されます。

マスター・スレーブ機能による操作。
P9 BeamspotをDMXラインで接続し、すべてのスレーブ機器に対してREMOTEメニューを有効にします。 STANDALONE メニューで REMOTE サブメニューに移動します。 ″ ENTER ″を押しながら、″ESC ″も押してREMOTE機能を有効にします。ディスプレイにREMOTE INACTIVEまたはREMOTE ACTIVEのステータスが表示されると、スポットライトはスレーブモードになります。REMOTE INACTIVE： P9 Beamspotはスレーブモードですが、DMX信号を受信していません。 REMOTE ACTIVE： P9 Beamspotはスレーブモードで、DMX信号を受信しています。マスターデバイスはMODIFYメニューでプログラムされ、RUN（″ENTER ″を押しながら ″ESC ″も押す）でスタートします。

6.7. 情報メニュー
情報メニューは、それぞれのソフトウェア、フィクスチャーID、合計動作時間、スポットライトの異なる温度についてお知らせします。情報エリアの最初の2つのメニュー項目は、ソフトウェアバージョンとフィクスチャーIDで、ソフトウェアバージョンは我々のサービス依頼のための重要な情報源で、フィクスチャーIDは内部情報のあまり重要な情報源ではありません。 TOT OPERATE TIME（トットオペレートタイム）メニューの下に、ヘッドライトの完全な動作時間が表示されます。TOT LAMP TIME（ランプ時間）メニューでは、LEDモジュールの純粋な動作時間が表示されます。TOT BAT CHARGE TIMEは、バッテリー（バッテリーバックアップ）の完全な充電時間を表示します。TOT OPERATE TIMEとTOT BAT CHARGE TIMEは削除できません。 また、以下の温度も表示されます。
TEMP BASE LCD：表示基板の温度
TEMP BASE PS：電源ユニットの温度
TEMP HEAD MAIN：ヘッド基板の温度
TEMP HEAD DRV：LEDドライバー基板の温度
TEMP HEAD LED：LEDモジュールの温度
TEMP HEAD AMBIENT：表示基板の温度
TEMP HEAD AMBIENT：吸気口の隣のヘッド内の温度（周囲温度）
現在温度と最高温度の両方が表示されます。最高温度は個別に削除することができます。

6.8. ショートカット – クイックアクセス
ESC + DOWN
メインメニューでESCとDOWNボタンを押すと、プログラムされたLumen Radio Wirelessトランスミッターから器具をログアウトします。これで、フィクスチャーを別のトランスミッターにログオンする準備ができました。
ENTER + UP
メイン・スクリーンで ENTER + UP が押されると、スクリーンの向きが180° 回転されます。
ENTER + ESC
ENTERとESCキーを押すことで、フィクスチャはユーザー入力に対してロックされます -> LOCKED。ESC と ENTER で再びロックが解除されます!

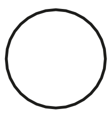
7. 制御オプション
7.1 DMX
7.1.1 Operating modes P12 Profile
P9 Beamspotには、2種類のDMXモードがあります。それぞれのモードは、PERSONALITY、DMX MODE メニュー項目で設定することができます。設定されたモードは、メインメニューに表示されます。

	Mode 1(M1)	Mode 2 (M2)
Channel 1	Pan	Pan
Channel 2	Pan fine	Pan fine
Channel 3	Tilt	Tilt
Channel 4	Tilt fine	Tilt fine
Channel 5	Control channel	Control channel
Channel 6	Shutter	Shutter
Channel 7	Dimmer	Dimmer
Channel 8	Focus	Fine dimmer
Channel 9	Zoom	Focus
Channel 10	Autofocus distance	Fine focus
Channel 11	Reserved	Zoom
Channel 12	Iris	Fine zoom
Channel 13	Gobo 1	Autofocus distance
Channel 14	Gobo 2	Reserved
Channel 15	Gobo 2 rotation	Iris
Channel 16	Colour wheel	Fine iris
Channel 17	Cyan	Gobo 1
Channel 18	Magenta	Gobo 2
Channel 19	Yellow	Gobo 2 rotation
Channel 20	CTO	Gobo 2 fine rotation
Channel 21	Sparkle	Colour wheel
Channel 22	Sparkle speed	Cyan
Channel 23	Prism 1	Fine cyan
Channel 24	Prism 1 rotation	Magenta
Channel 25	Frost 1	Fine magenta
Channel 26	Effect macro	Yellow
Channel 27	Pan/tilt speed	Fine yellow
Channel 28	Effect speed	CTO
Channel 29	Blackout Move	CTO fine
Channel 30		Sparkle
Channel 31		Sparkle speed
Channel 32		Prism 1
Channel 33		Prism 1 rotation
Channel 34		Prism 1 fine rotation
Channel 35		Frost 1
Channel 36		Effects macro
Channel 37		Pan/tilt speed
Channel 38		Effect speed
Channel 39		Blackout Move

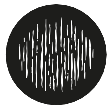
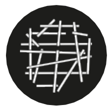
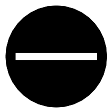
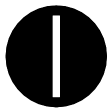
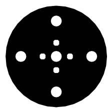
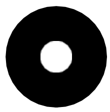
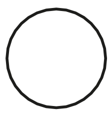
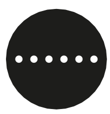
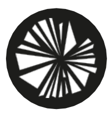
7.1.2 DMX channel functions P9 Beamspot

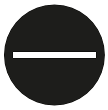
M1	M2	M3	Function	DMX
1	1		**Pan** (X) movement 546,74°	000-255
2	2		**Pan** (X) fine (16 Bit)	000-255
3	3		**Tilt** (Y) movement 281,16°	000-255
4	4		**Tilt** (Y) fine (16 Bit)	000-255
5	5		**コントロールチャンネル** フェーダーによる調光は、全てのライトミキシング・コンソールで均一に行えるよう、5種類のDMXスムージング設定が可能です。DMXスムージングを5段階で設定できます。DMX信号が遮断された場合、または一部のDMXコンソールで一部のDMXコンソールでDMX信号が途切れたり、送信パケットが少なすぎる場合、Sparx 18/30の応答はこのチャンネルで調整できます。最小DMXスムージング設定は、ほとんどの一般的なコンソールで動作するはずです。DMXスムージングの値は永続的でなければなりません。冷却モード、色温度、ズームモード、カメラモード、リセットなどの他の値については、その値は永続的でなければなりません。モード、リセットのような他の値については、値を2秒間適用する必要があり、その後、デバイスは永久的に切り替わります。PERSONALITYメニューの設定と同じです。 **DMX スムージングを最小にするための設定** （ディマーシャッターのシーケンスが可能です） フェーダーによる調光フェードアウト（速い - 遅い） 使用しない **DMXスムージングを最小／中程度にする設定** フェーダーによる調光フェードアウト（速い - 遅い） 使用しない **DMXスムージング（中）設定** フェーダーによるディマーフェードアウト（高速～低速） 使用しない **中速／最大速のDMXスムージング設定** フェーダーによるディマーフェードアウト（速い - 遅い） **BACKLIGHT MODE（バックライトモード）-ディスプレイのバックライト構成** AUTO（オート） - フィクスチャーが自動的にバックライトをコントロールします。 ON - バックライトは常にオンです。 OFF - バックライトは、キーが押されるまで、常にオフになっています。 **DISPLAY ORIENTATION（ディスプレイの向き） - ディスプレイを反転させるかどうか** STANDARD（標準）- ヘッドランプが表面にあるとき、ディスプレイを読むことができます。 FLIP - ディスプレイの向きが180°回転し、吊り下げて読むことができます。 使用しない **MAIN SCREEN MODE（メイン画面モード） - メイン画面の表示** 標準 - メイン画面には、DMXアドレス、DMXモード、およびワイヤレスが有効な場合は電界強度が表示されます。ワイヤレスが有効な場合は、電界強度が表示されます。 USER FIXTURE ID - メイン画面は、ユーザーが定義できるフィクスチャーID/ヘッドライト番号を表示します。ライト番号 未使用 **USER FIXTURE ID SET（ユーザー・フィクスチャーIDセット）** - フィクスチャーIDをセットしてください。 SET - USER IDを設定することができます。 USER ID 未使用	 000-007 008-031 032-039 040-063 064-071 072-095 096-103 104-104 105-105 106-106 107-107 108-108 109-109 110-110 111-111 112-112 113-113 114-127

			DMXのスムージングを最大にするための設定 フェーダーによるディマーフェードアウト（速い - 遅い）	 128-135
			DIMMER CURVE - ディマーカーブの選択 LINEAR - 直線的な調光カーブ SQUARE - 指数的な調光カーブ SQUARE INVERSE - 指数的な逆調光カーブ 使用しない	 136-136 137-137 138-138 139-139
			RGB/CMY CURVE - RGB/CMYカーブを選択します。 SQUARE INVERSE LEGACY - 指数的逆方向のレガシーRGB/CMYカーブ LINEAR - リニアRGB/CMYカーブ。 SQUARE INVERSE - 指数関数的な逆RGB/CMYカーブです。	 140-140 141-141 142-142
			FROST CURVE - フロストカーブの選択 LINEAR - リニアフロストカーブ SQUARE INVERSE -指数関数的に反転したフロストカーブ 使用しない	 143-143 144-144 145-145
			PAN/TILT SPEED - パン/チルトスピードを選択します。 WHISPER SILENT MEDIUM FAST	 146-146 147-147 148-148 149-149
			EFFECT SPEED（エフェクトスピード） - エフェクトのスピードを選択します。 WHISPER SILENT MEDIUM FAST	 150-150 151-151 152-152 153-153
			LED FADE OUT MODE - ディミングアウトの選択 STANDARD SOFT 使用しない	 154-154 155-155 156-159
			COOLING MODE - ファンの音量と明るさを調整します。 これはディマー/シャッターが閉じた状態（DMX 000）で行われ、2秒後にこのオプションが切り替わります。但し、PERSONALITYメニューの"SAFE MODE SWITCH "スイッチがPERSONALITYメニューのスイッチ "SAFE MODE SWITCH" が OFF に設定されている場合、ディマーとシャッターが作動することなく直接切り替わります。 THEATRE WHISPER THEATRE SILENT STANDARD BOOST LONGLIFE 未使用	 160-160 161-161 162-162 163-163 164-164 165-207
			CAMERA MODE - LEDのリフレッシュレート設定 50Hz 60Hz FLEX - 600Hz High FLEX - 3kHz 使用しない	 208-215 216-223 224-227 228-231 232-239
			RESET - フィクスチャーの基本的なリセットが行われます。 Reset 使用しない	 240-247 248-255

6	6		**Shutter** Shutter closed Shutter open Open pulsing shutter >20Hz (rapid - slow) Shutter open Fade effect with dimmer (slow - rapid) Shutter open Shutter closed Open pulsing shutter <20Hz (rapid - slow) Shutter open Close pulsing shutter >20Hz (rapid - slow) Shutter closed Shutter fade, 0% (rapid - slow) Shutter open Shutter fade, 100% (rapid - slow) Shutter closed Random shutter 100% (rapid - slow) Shutter open Random shutter 0% (rapid - slow) Shutter closed Random shutter fade, 0% (rapid- slow) Shutter open Random shutter fade, 100% (rapid- slow) Shutter open	 000-015 016-095 096-110 111-111 112-125 126-126 127-126 128-142 143-143 144-158 159-159 160-174 175-175 176-190 191-191 192-206 207-207 208-222 223-223 224-238 239-239 240-254 255-255
7	7		**Dimmer** 0 - 100%	000-255
	8		**Dimmer fine** (16Bit)	000
8	9		**Focus** 0-100%	000-255
	10		**Focus fine** (16 Bit)	000-255
9	11		**Zoom** 0 -100% (near 3.4° - far 54°)	000-255
	12		**Zoom fine** (16 Bit)	000-255
10	13		**Auto focus distance** Auto focus off Auto focus 0 m - 25,5 m (0 =off, DMX / 10 = distance)	 000-001 002-255
11	14		**Reserved** (no function)	000-255
12	15		**Iris** 0-100% (open -> closed)	000-255
	16		**Iris fine** (16Bit)	000-255
13	17		**Gobo wheel 1** Gobo 0  Gobo 1 	 000-007 008-015

afb

			Gobo 2 	016-023
			Gobo 3 	024-031
			Gobo 4 	032-039
			Gobo 5 	040-047
			Gobo 6 	048-055
			Gobo 7 	056-063
			Gobo 8 	064-071
			Gobo 9 	072-079
			Gobo 10 	080-087
			Gobo 11 	088-191
			Gobo wheel rotation (fast - slow) Gobo wheel rotation (fast - slow)	192-223 224-255
14	18		**Gobo wheel 2 - rotating gobos** Gobo 0 	000-007
			Gobo 1 	008-015
			Gobo 2 	016-023
			Gobo 3 	024-031

			Gobo 4 	032-039
			Gobo 5 	040-047
			Gobo 6 	048-055
			Gobo 7 	056-127
			Gobo 0 shake (fast - slow)	128-135
			Gobo 1 shake (fast - slow)	136-143
			Gobo 2 shake (fast - slow)	144-151
			Gobo 3 shake (fast - slow)	152-159
			Gobo 4 shake (fast - slow)	160-167
			Gobo 5 shake (fast - slow)	168-175
			Gobo 6 shake (fast - slow)	176-183
			Gobo 7 shake (fast - slow)	184-191
			Gobo wheel rotation (fast - slow)	192-223
			Gobo wheel rotation (fast - slow)	224-255
15	19		**Gobo positioning/rotation 2**	
			Gobo positioning 0° - 540°	000-191
			Gobo rotation, right (rapid - slow)	192-222
			Stop gobo rotation	223-224
			Gobo rotation, left (slow - rapid)	225-255
	20		**Gobo positioning/rotation 2 fine** (16 Bit)	000-255
16	21		**Color wheel**	
			White (color shift gobo on)	000-000
			White (color shift gobo off)	001-001
			White / CTB	002-003
			CTB	004-005
			CTB / Red	006-007
			Red	008-009
			Red / Yellow	010-011
			Yellow	012-013
			Yellow / Magenta	014-015
			Magenta	016-017
			Magenta / Green	018-019
			Green	020-021
			Green / Orange	022-023
			Orange	024-025
			Orange / Blue	026-027
			Blue	028-029
			Blue / Pink	030-031
			Pink	032-033
			Pink / CRI	034-035
			CRI	036-037
			CRI / CTO	038-039
			CTO	040-063

			Linear colours: White - CTB - Red - Yellow - Magenta - Green - Orange - Blue - Pink - CRI - CTO - White Colour cycle, right (rapid - slow) Colour cycle, left (slow - rapid)	064-191 192-223 224-255
17	22		**Cyan** (8 Bit) 0-100%	000-255
	23		**Fine cyan** (16 Bit)	000-255
18	24		**Magenta** (8 Bit) 0-100%	000-255
	25		**Fine magenta** (16 Bit)	000-255
19	26		**Yellow** (8 Bit) 0-100%	000-255
	27		**Fine yellow** (16 Bit)	000-255
20	28		**CTO** (8 Bit) 0-100% model HP, HC / **CTB** (8 Bit) 0-100% model WW	000-255
	29		**CTO fine** (16 Bit) **/ CTB fine** (16 Bit) model WW	000-255
21	30		**Sparkle - Glitter effect** Sparkle effect inactive Sparkle effect intensity (minimum - maximum)	 000-000 001-255
22	31		**Sparkle speed** Faded sparkle effect (slow -> rapid) Switched sparkle effect (slow -> rapid) Repetition of the fading and switching blocks	 000-031 032-063 064-255
23	32		**Prism 1** Open Prism 1 (3-facet circular)	 000-007 008-255
24	33		**Prism 1 positioning/rotation** Prism positioning (0° - 540°) Prism rotation, right (rapid -> slow) Stop prism rotation Prism rotation, left (slow -> rapid)	 000-191 192-222 223-224 225-255
	34		**Prism 1 fine positioning/rotation** (16 Bit)	000-255
25	35		**Frost 1** Frost 0-100%	 000-255
26	36		**Effects macro** Macro inactive Macro 001 - Macro 255	 000-000 001-255
27	37		**Pan/tilt speed** Real-time motion Delayed motion (rapid - slow)	 000-003 004-255
28	38		**Effects speed** Real-time effects Delayed effects (rapid - slow)	 000-003 004-255

29	39		**Blackout Move** Not assigned Blackout during pan/tilt Blackout during Gobo, Colour, Prism, CMY, Iris, Frost Blackout during Gobo, Colour, Prism, CMY, Iris, Frost, Zoom, Focus Blackout during Gobo, Colour, Prism, CMY, Iris, Frost, Pan/Tilt Blackout during Gobo, Colour, Prism, CMY, Iris, Frost, Zoom, Focus, Pan/Tilt	 000-095 096-127 128-159 160-191 192-223 224-255

7.1.3 コントロール・チャンネル

コントロール・チャンネルを通じて、フィクスチャーの異なる機能をスイッチすることができます。以下の機能は、コントロール・チャンネルを介して切り替えることができます。
卓でコントロールするときの灯具の反応
BACKLIGHT MODE - ディスプレイのバックライト
DISPLAY ORIENTATION - ディスプレイの方向
MAIN SCREEN MODE - メイン画面の表示
USER FIXTURE ID SET - ヘッドライトの番号を設定
DIMMER CURVE - ディマーカーブの調整
FROST CURVE - フロストカーブを設定する
PAN / TILT SPEED - パン / チルトスピード
EFFECT SPEED - エフェクトスピード
LED FADE OUT MODE - 調光の種類
COOLING MODE - ファンの音量と明るさを調整します
CAMERA MODE - LEDのリフレッシュレートを設定します
RESET - ヘッドライトの基本的なリセットが実行されます。
詳細は、 24ページ「P9ビームスポットのDMXチャンネル機能」をご覧ください。

7.1.4 スパークル効果、スパークル速度

このチャンネルを使用して、焦点に関連するアニメーション効果を作成することができます。強度に応じて、投影の揺れを大きくしたり小さくしたりすることができます。この効果は、減光または切り替えが可能です。

7.1.5 オートフォーカス

オートフォーカス機能を有効にするには、「autofocus distance」を約50%に設定します。次に、システムの微調整にゴボホイール2を使用し、それに応じてフォーカスを125 (32000) に設定するのが最適です。 次に、 「autofocus distance」を使用して、灯具に焦点を合わせて、灯具までの距離を設定します。目安として、DMX値を10で割った値が距離に相当します (DMX 100/10距離=10m) 。 これで、ズームによるオートフォーカスで灯具を操作できるようになりました。次の表を使用して、個々の効果のフォーカス値を事前に選択し、オートフォーカスでズームすることができるようになりました。

	Gobo1	Gobo2 Open	Iris
Focus 8Bit	95	125	215
Focus 16Bit	24320	32000	55040

7.2 Artnet

スポットライトは、Artnet - ArtNET 4を介して制御することができます。 これを行うには、メニュー項目DMX / NET ADDR -> ARTNET ADDRESSを介してArtnetアドレスを設定し、メニュー項目PER- SONALITY -> DMX INPUT CONFIG -> NETWORK -> MODE -> ARTNETを介してそれを選択します。さらに、スポットライトのIPアドレスをPERSONALITY -> DMX INPUT CONFIG -> NETWORK -> IP AD- DRESS でスポットライトの IP アドレスを設定します。詳細と設定オプションは、18 ページを参照してください。

7.3 Streaming ACN
ヘッドライトは、sACN - Streaming ACN で制御できます。これを行うには、DMX / NET ADDR -> SACN ADDRESSメニューでsACNアドレスを設定し、PERSONALITY -> DMX INPUT CONFIG -> NETWORK -> MODE -> SACNメニューでそれを選択します。さらに、スポットライトのIPアドレスをスポットライトの IP アドレスは、PERSONALITY -> DMX INPUT CONFIG -> NETWORK -> IP ADDRESS で設定します。詳細および設定オプションは、18 ページを参照してください。

7.4 Wireless-DMX
P9 Beamspot には、ワイヤレス DMX 用のLumen Radio CRMX レシーバーが搭載されています。受信機は DMXとRDM の両方を処理することができます。 P9 Beamspotにケーブル接続とワイヤレス接続がある場合、ケーブル接続が優先されます! 受信した信号はDMX接続で出力することができます。そのためには、PERSONALITY メニューの DMX OUTPUT CONFIG 設定を ON にします。ENTERで確定すると、スポットライトはワイヤレス DMX 経由で受信した全ユニバースを出力します。

7.5 RDM
P9 Beamspotは、ESTA American National Standard E1.20-2006 に準拠した RDM (Remote Device Management) による通信を行うことができます。RDMは、DMX512制御システムで使用するための双方向通信プロトコルです。DMX-512 機器の設定や状態監視のためのオープンスタンダードです。RDMプロトコルは、既存の非RDMデバイスに影響を与えることなく、DMX-512データストリームにデータパケットを挿入することを可能にします。コンソールや専用のRDMコントローラーで、特定のデバイスにコマンドを送信したり、メッセージを受信したりすることができます。
P9 Beamspotは、DMXとArtnet 4経由でRDMを送受信することができます。また、スポットライトは、sACN経由でRDMを送信し、Artnet経由で受信できるようになっています。RDM機能は使用する照明コントローラーに依存しますので、それぞれのコントローラーのメーカーの操作説明書も遵守する必要があります。

7.5.1 RDM-UID
すべてのP9 Beamspotは、工場で設定されたRDM-UID（固有の識別番号）を持っており、これによりRDMシステムでアドレス指定や識別が可能になります。

7.5.2 RDM-PIDs
P9 Beamspotは、ESTAで要求されるRDM PID（パラメータID）およびメーカー固有のPIDをサポートしています。

7.5.3 Standard RDM parameter IDs

RDM parameter ID	GET	SET	DISCO-VERY	Note
RDM identification				
DISC_UNIQUE_BRANCH			✓	is used for fixture identification
DISC_MUTE			✓	is used for fixture identification
DISC_UN_MUTE			✓	is used for fixture identification
RDM status determination				
QUEUED_MESSAGE	✓			
STATUS_MESSAGES	✓			
STATUS_ID_DESCRIPTION	✓			
CLEAR_STATUS_ID		✓		
RDM information				
SUPPORTED_PARAMETERS	✓			
RDM configuration				
DEVICE_MODEL_DESCRIPTION	✓			
MANUFACTURER_LABEL	✓			
FACTORY_DEFAULTS		✓		
SOFTWARE_VERSION_LABEL	✓			
DMX_PERSONALITY		✓		
DMX_PERSONALITY_DESCRIPTION	✓			
DMX_START_ADDRESS		✓		
SENSOR_DEFINITION	✓			
DEVICE_HOURS	✓			
LAMP_HOURS	✓			
IDENTIFY_DEVICE		✓		
RESET_DEVICE		✓		
PERFORM_SELFTEST		✓		
SELFTEST_DESCRIPTION	✓			

7.5.4 Manufacturer specific RDM parameter IDs

RDM parameter ID	GET	SET	DISCO-VERY	Note
RDM configuration				
Battery Charge Hours	✓			
Error Number	✓			
Error	✓			
Select Next Error		✓		
Remove Error		✓		
Remove New Error Flag		✓		
User Defaults		✓		
User Fixture ID		✓		
Fixture Lock On/Off	✓	✓		
Dimmer Curve	✓	✓		
RGB Curve	✓	✓		
Frost Curve	✓	✓		
Camera Mode	✓	✓		
Cooling Mode	✓	✓		

Pan Tilt Speed	✓	✓		
Effect Speed	✓	✓		
Backlight Mode	✓	✓		
Disp Orientation	✓	✓		
Main Screen Mode	✓	✓		
Safe Mode Switch	✓	✓		
LED Fade Out Mode	✓	✓		

7.5.5 RDM sensor IDs

RDM sensor ID	GET	SET	DISCO-VERY	Note
RDM sensors				
Temp Sens Base LCD	✓	✓		
Temp Sens Base PS	✓	✓		
Temp Sens Head PCB	✓	✓		
Temp Sens Head Drv	✓	✓		
Temp Sens Head LED	✓	✓		
Temp Sens Head Air	✓	✓		

8. Service

8.1Service menu

RESET FIXTURE

リセットコマンドにより、 P9 Beamspotは初期値に戻ります。これは、 P9 Beamspotの電源を入れた後と同じ手順です。エラーメッセージが表示された場合、これを修正する最初のステップとすることができます。

ERROR LIST

P9 Beamspot は、発生したすべてのエラーを内部に保存します。エラーメッセージは、無害な原因であることもあります。 頻繁にエラーメッセージが表示される場合は、販売店またはJB-Lightingのサービス部門にご連絡ください。すべてのエラーメッセージは、それぞれの頻度で表示され、削除することができます。

FUNCTION TEST

DMXコントローラーを使用せずに、 P9 Beamspot の全機能をテストすることができる機能です。パン/チルトのリセットは、この過程で解除されます。

DMX TEST

このメニュー項目は、DMX入力をテストするために使用します。ファンクションキーを使用して、テストするDMXチャンネルを選択します。ディスプレイは入力された値を表示し、同時にP9 Beamspotはそれに応じて反応します。

INIT PAN TILT

P9 Beamspotは、工場出荷時にパン/チルトポジションでキャリブレーションされています。
このキャリブレーションが失われた場合、つまり、ストップにぶつかったり、位置が分からなくなった場合、この機能を使って再初期化することができます。 このプロセスは約3-4分かかり、スポットライトのリセットで終了します。

DISPLAY CONTRAST

温度が高すぎる場合、LCDディスプレイのコントラストが変化することがあります。このメニュー項目で、コントラストを調整することができます。

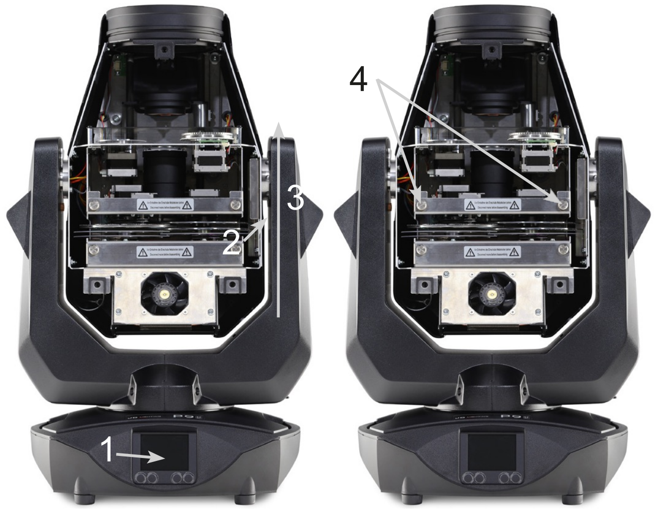
FINE ADJUST
エリアは、キーの組み合わせで保護されています。フォーカス、パン、チルトは工場出荷時にキャリブレーションされています。個々のヘッドライト間のキャリブレーションに大きな偏差がある場合、FINE ADJUST メニューで修正することができます。詳しくは、弊社サービスまでお問い合わせください。

IDENTIFY DEVICE
RDM コマンド IDENTIFY DEVICE は、このメニュー項目で呼び出したり無効にしたりすることができます。

8.2 Changing gobos

注意：本体を開ける前に、本体が冷えてから電源プラグを抜いてください。活線部（高電圧）に触れると感電することがあります。

デバイスを開けるには（右側から）、写真のようにスポットライトをしっかりとした土台の上に置き、ディスプレイ（1）はあなたの方を向き、チルトロック（2）は右側にあり、スポットライトヘッドはあなたの方を向いています（3）（またはグリルを通してスポットライトを後ろから見て、開けるべきカバーを示す矢印を見ます）。カバーを取り外すには、4つのカムロックを半回転させて開き、カバーを持ち上げて、セーフティーケーブルを外します。次に、刻み目の付いた 2 つのネジ（4）を開き、ゴボアッセンブリを取り外します。次の図(1) は、P9 のゴボアッセンブリを示しています。フォーカスがフロントレンズの方向に移動していることを確認します。



(1)

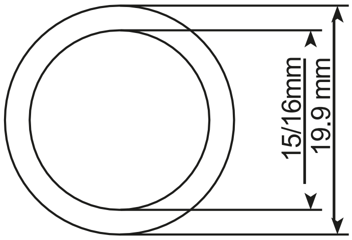
(2)

回転ゴボを交換するには、クランプリング（A）のみを先の尖った物体で取り外し、ゴボを交換してから、クランプリングを再度取り付けます。ガラスゴボを取り付ける際には、白いコーティングが施された面がフロントレンズに面していることを確認してください。ロゴなど、ねじれを許容しないゴボは、シリコン接着剤を滴下してねじれないように固定することをお勧めします。

オリジナルのゴボを挿入するときは、ゴボ、ゴボホルダー、ゴボホイールのマークに注意してください。

8.3 Gobo size
独自のゴボを製作する場合は、次の寸法に注意してください。

使用可能直径、固定ゴボホイール 1 : 15.00 mm
使用可能直径、回転ゴボホイール 2 : 16.00 mm
外径 : 19.90 mm (+0/-0.1 mm)
最大厚み : 1.1 mm



8.4 ソフトウェアアップデート
P9 Beamspotは、マイクロUSB接続のUSBメモリーでアップデートすることができます。そのためには、USBスティックのルートディレクトリにファイルを直接コピーします。次に、ディスプレーの下にある右側のキーを押しながら、 P9 Beamspotの電源を入れ、ディスプレーに「Insert USB stick」というメッセージが表示されたら、キーを放します。ここで、デバイス背面の信号接続部の下にあるUSBスティックを差し込み、ディスプレイの指示に従います。 P9 Beamspotはリセットでソフトウェア更新が完了します。最新のソフトウェアは、弊社ホームページでご確認いただけます。

8.5 電気機器のテスト
ドイツ社会傷害保険（DGUV）規則3 / 規則4により、電気系統や機器は定期的に検査を受ける必要があります。DMX 5ピンソケットの固定ネジは、絶縁および残留電流測定の測定ポイントとして使用することができます。 ネジはコンタクトワッシャーを介してすべての板金部品に接続されています。

8.6デバイスのクリーニング

注意：本体を開ける前に、本体が冷えてから電源プラグを抜いてください。
活線部（高電圧）に触れると感電することがあります。

ヘッドとフットのファンは、定期的に機能を確認する必要があります。特に、吸気口とP9 Beamspotの内部に毛羽立ちやホコリがないことを確認する必要があります。ヘッドカバー（3つのカムロックが半回転する）とフット底板を開けます。P9 Beamspotは、ブラシと掃除機で掃除することができます。また、蓋の中の防塵マットも掃除機で吸引してください。防塵マットがきれいになっていない場合は、交換する必要があります。さらに、ローレットネジ（3）を緩め、フォーカスキャリッジをレンズに向かってスライドさせることで、ゴボインサート（1）とシャッタースライドインサート（2）を取り外すことができます。その後、柔らかい布と少量の窓用クリーナーでカラーフィルター、ガラスゴボ、CMYペインをクリーニングします。フロストフラップ、プリズム、ズーム/フォーカスユニットを清掃するには、4つのフィリップスネジ（4）を取り外し、次にカバーを取り外します。クリーニング中に部品を曲げたり傷つけたりしないように注意してください。清掃が終わったら、フラップを再び接続し、プラスネジ（4）を元に戻して、挿入部を本体に戻します。

8.7 サービスとメンテナンス

8.7.1 潤滑された可動部の検査

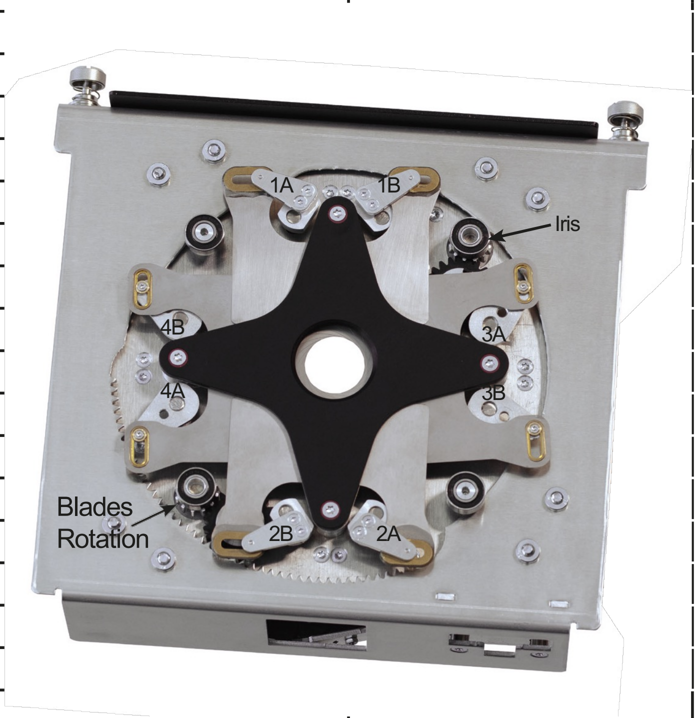
P9 Beamspotでは、ズーム/フォーカスガイドレールおよび回転するゴボに十分な潤滑が行われているか、定期的（1年に1回）に点検する必要があります。これを行うには、ヘッドカバー（4x カムロックを半回転）とズームカバー（3 つのプラスネジ）を開き（4）を参照して、ゴボインサート（2 つの刻み付きネジ）を取り外します。
必要に応じて、回転ゴボには専用のシリンジで、ガイドレールには専用のシリコンオイルをブラシで塗布する必要があります。
ゴボとレールの点検や注油が終わったら、スロットを再び挿入し、ズームカバーを再び閉じます。作業終了後、灯具のカバーを元に戻し、灯具の全機能をテストしてください。

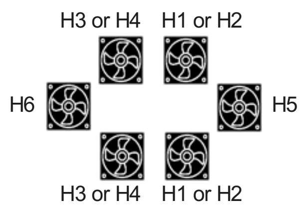
8.7.1 プラスチックパーツのチェック

P9 Beamspotのプラスチック部品は、損傷やクラックの発生がないか定期的にチェックする必要があります。プラスチック部品のひび割れやその他の損傷は、輸送や第三者による操作によって引き起こされる可能性があり、また、経年劣化がプラスチック材料に影響を与える可能性があります。破損したプラスチック部品は、すぐに交換しなければなりません！プラスチック部品の欠陥は、ヘッドライトのさらなる損傷につながる可能性もあります。

9. Overview of error codes for all fixtures

PAN TIMEOUT	Pan	
TILT TIMEOUT	Tilt	
GOBO1 TIMEOUT	Gobo wheel 1 position	
GROT1 TIMEOUT	Gobo wheel 1 rotation	
GOBO2 TIMEOUT	Gobo wheel 2 position	
GROT2 TIMEOUT	Gobo wheel 2 rotation	
COLOR TIMEOUT	Color wheel	
CYAN TIMEOUT	Cyan	
MAGENT TIMEOUT	Magenta	
YELLOW TIMEOUT	Yellow	
CTC TIMEOUT	CTB / CTO	
IRIS TIMEOUT	Iris	
BLADEROT TIMEOUT	Blades Rotation	
BLADE1A TIMEOUT	Blade1A	
BLADE1B TIMEOUT	Blade1B	
BLADE2A TIMEOUT	Blade2A	
BLADE2B TIMEOUT	Blade2B	
BLADE3A TIMEOUT	Blade3A	
BLADE3B TIMEOUT	Blade3B	
BLADE4A TIMEOUT	Blade4A	
BLADE4B TIMEOUT	Blade4B	
ZOOM TIMEOUT	Zoom	
FOCUS TIMEOUT	Focus	
PRISM1 TIMEOUT	Prism 1 (linear)	
PRISM1ROT TIMEOUT	Prism 1 rotation	
PRISM2 TIMEOUT	Prism 2 (circular)	
PRISM2ROT TIMEOUT	Prism 2 rotation	
ANI TIMEOUT	Animation wheel	
ANIROT TIMEOUT	Animation wheel rotation	
FAN B1 ER	Error Fan Base 1	
FAN B2 ER	Error Fan Base 2	
FAN B3 ER	Error Fan Base Transformer	SPARX ONLY
FAN H1 ER	Error Fan Head 1	
FAN H2 ER	Error Fan Head 2	
FAN H3 ER	Error Fan Head 3	
FAN H4 ER	Error Fan Head 4	
FAN H5 ER	Error Fan Head 5	
FAN H6 ER	Error Fan Head 6	
FAN H7 ER	Fan Blades (P18) / CMY P12	





TSENS BPS ER	Sensor Error Base Power Supply AC/DC	
TSENS BLCD ER	Sensor Error Base LCD	
TSENS BAIR ER	Sensor Error Base Air	SPARX ONLY
TSENS HMAIN ER	Sensor Error Head Main PCB	
TSENS HDRV ER	Sensor Error Head LED Driver PCB	
TSENS HLED ER	Sensor Error Head LED	
TSENS HAIR ER	Sensor Error Head Air (Ambient)	
HIGH TEMP BLCD	High Temperature Base LCD PCB	
HIGH TEMP BAIR	High Temperatur Base Air (SPARX ONLY)	
HIGH TEMP BPS	High Temperature Base PSU AC/DC	
HIGH TEMP HMAIN	High Temperature Head Main PCB	
HIGH TMP HDRV	High Temperature Head LED Driver PCB	
HIGH TMP H LED	High Tempperature Head LED Module	
HIGH TEMP HEAD AIR	High Temperature Head Air (Ambient)	
CPU1 NOT RESPONDING	CPU Display PCB	
CPU2 NOT RESPONDING	CPU Pan/Tilt PCB	
CPU3 NOT RESPONDING	CPU Main Head PCB	
CPU4 NOT RESPONDING	CPU Main Head PCB: MK2 MAIN HEAD, P12 CMY, MK1 BLADES	
CPU5 NOT RESPONDING	CPU Blades PCB: MK1 LED DRIVER PCB	
CPU6 NOT RESPONDING	CPU LED Driver PCB: MK1 N.A.	

9. 仕様書

外形寸法・質量 .... 265 mm
幅 .... 398 mm
高さ .... 609 mm
重さ .... 17 kg

電子システム
電源 .... 100-240 V AC, 50-60Hz
最大消費電力 .... 460 VA
待機時消費電力 .... 100 VA

温度特性

最高使用環境温度 .... 45 °C
最低使用環境温度 .... 5 °C

光学、測光データ

光源 .... White light LED module 330W
光束 HP .... 15000 Lumen @20°C

効果
Pan .... 546.74°
Tilt .... 281.16°
Zoom .... 3.4° - 54°

構造

色 .... black
素材 .... PC ABS
保護等級 .... IP 20
プラグイン技術 .... yes

設置

設置場所 .... indoors
取付金具 .... 2x Omega brackets
取付位置 .... any
可燃物までの最小固定距離 .... 0.5 m
発光部と被照射面との距離 .... 2.0 m

接続

電源入力 .... Neutrik powerCON TRUE1
電源取出し .... Neutrik powerCON TRUE1
DMX/RDM in/out USITT DMX512 .... 5-pin, in/out XLR
Ethernet in/out .... Neutrik etherCON
Micro-USB .... Software update

10.適合宣言書

Declaration of Conformity

指令の意味：2014/35/EU Low Voltage Directive。

・2014/02/26の欧州議会と理事会の指令2014/35/EUは、特定の電圧制限内で使用するように設計された電気機器に関する加盟国の法律を近似させるための指令。

・ある電圧制限内で使用するために設計された電気機器に関する加盟国の法律を近似化するための指令

指令の意味：2014/30/EU 電磁両立性

・電磁両立性に関連する加盟国の法律を近似するための2014/02/26の欧州議会と理事会の指令2014/30/EU

製造メーカー **JB-Lighting Lichtanlagentechnik GmbH**
Sallersteigweg 15
89134 Blaustein-Wippingen

該当製品: **P9**

指令の本質的な保護要件に適合しています。適合性評価には、以下の規格を使用しました。

排出量要件 **情報技術装置、電波障害特性-限界値および測定方法-限界値クラスA**
EN 55032:2015

伝導性妨害電波
EN 55032:2015
情報技術装置に対する要求事項、無線妨害特性 – 限界値、測定方法
限界値及び測定方法-限界値クラスA

電磁両立性
EN 55032:2015
情報技術装置, 無線妨害波特性-
限界値及び測定方法-限界値クラス A

高調波電流
EN 61000-3-2:2015
電磁両立性
第3-2部：高調波電流の制限値及び試験
（入力電流が各相 16A 未満の装置用）

フリッカー
EN 61000-3-3:2013
電磁両立性(EMC)
第 3-3 部：限界値、電圧変化の制限。
低電圧ネットワークにおける電圧変動及びフリッカ
（入力電流が1相あたり16A未満の機器用）

免責事項　要件 電磁両立性（EMC）-第 6-2 部：汎用規格-工業エリアにおける免責事項
EN 61000-6-2:2005

EN 61000-4-2:2009	Part 4-2:静電気放電に対する免責事項
EN 61000-4-3:2006 +A1:2008 +A2:2010	Part 4-3:高周波電磁界に対する免責事項第
EN 61000-4-4:2012	Part 4-4:高速過渡電気障害（バースト）に対する免責事項
EN 61000-4-5:2006	Part 4-5:サージ電圧に対する妨害波電圧
EN 61000-4-6:2014	Part 4-6:高周波誘起伝導妨害波に対する免責事項
EN 61000-4-8:2010	Part 4-8:電力技術用周波数の磁界に対する免責事項
EN 61000-4-11:2004	Part 4-11:電圧ディップ、短時間停電、電圧変動に対する免責事項

Blaustein, 01/09/2021

J. Braungardt

Jürgen Braungardt
CEO

JB-Lighting Lichtanlagentechnik GmbH
Sallersteig 15
89134 Blaustein
Tel. +49 7304 9617-0
Fax. +49 7304 9617-99
info@jb-lighting.de
www.jb-lighting.de

JB LIGHTING

国内販売代理店
株式会社スペース・エンジニアリング・ワークス
東京都新宿区早稲田鶴巻町523 ジョイフル中川 1F
TEL:03-5292-2380 / FAX:03-5292-2382

テクニカルサポート
株式会社ノード
東京都江東区毛利1-17-1　レジデンス毛利WEST 1F
TEL 03-6666-0186 / FAX 03-6666-0187

セールス／マーケティングサポート
株式会社アフターバーナー
東京都江東区豊洲5-6-45-705
TEL / FAX 03-3532-7698

輸入代理店
ベルント・エルブス・ステージ・サービス株式会社
東京都文京区小石川5-39-2-407
TEL / FAX:03-5689-2385

afb